

真宗総合研究所 研究紀要

17

大 谷 大 学

目次

唐代仏教石刻文の研究(一)	大内文雄	1
古代韓半島の龍について	チョン・チョミョ(鄭早苗)	39
清沢満之『宗教哲学骸骨』関連資料		
はじめに	小野蓮明	55
宗教哲学講義	徳永満之	57
宗教哲学骸骨ヲ読ム。	立花銚三郎	91
解説		97
一九九八(平成十)年度研究所報告		113
Comparative Table of the Golden Manuscript Tenjur in dGa'-ldan Monastery with the Peking Edition of Tenjur	三宅伸一郎	1

ANNUAL MEMOIRS OF THE OTANI UNIVERSITY SHIN BUDDHIST COMPREHENSIVE RESEARCH INSTITUTE

Volume 17

Comparative Table of the Golen Manuscript Tenjur in the dGa'-ldan
Monastery with the Peking Edition of Tenjur

MIYAKE Shin'ichirō

1

Materials Related to Kiyozawa Manshi's *The Skeleton of A Philosophy
of Religion*

Introduction

ONO Renmyō

55

Lectures on the Philosophy of Religion

TOKUNAGA Manshi

57

“Thoughts upon Reading *The Skeleton of A Philosophy of Religion*”

TACHIBANA Senzaburō

91

Commentary

97

Dragons in the Ancient Korean Penninsula

CHUNG Jomyo

39

Study of Buddhist Stone Inscriptions of the T'ang Period (Part 1)

ŌUCHI Fumio

1

Reports

113

本号には、一九九八年度の「一般研究」から共同研究「清沢満之の研究―清沢満之全集編纂のための基礎資料の調査研究」（研究代表者・小野蓮明）、同じく共同研究「唐代仏教石刻文の研究」（研究代表者・大内文雄）の研究成果、ならびに個人研究から「韓国の龍に関する研究―歴史性と民俗性について―」（研究員・ジョン・チョミヨ）の研究成果を掲載しました。私・加来雄之が研究代表者となった「初期無量寿経の典籍・思想研究」の研究成果は、諸般の事情により次号の紀要に掲載する予定です。また指定研究「西藏文献研究」班から研究成果の一端を提出していただきました。

二〇〇一年に研究所はここ鶴山町から大学構内に戻ります。そのために新しい研究所のあり方を構想していて、あらためて真宗総合研究所は大谷大学における唯一の研究施設であることに気付きました。研究所の研究が仏教・真宗の大学である大谷大学が研究すべきことは何かを具体的に表現し、世に知らしめる場であるということですからその意味で、今まで以上に独創的な研究課題が立てられ、多くの学内外の研究者と学生がかかわり、活気を持った研究がなされるべきと思います。

本年（二〇〇〇年）四月より吉元信行研究所長、宮崎健司研究所主事が山積する研究所の課題に取り組み研究を推進していかれることになりました。二〇〇一年の新たな研究所に期待したいと思います。

（雄）

大谷大学真宗総合研究所研究紀要 第17号

1998(平成10)年度研究報告

2000(平成12)年3月31日 発行

編集 大谷大学真宗総合研究所
代表者 所長 宮下晴輝

装丁印刷 平楽寺書店

発行 大谷大学真宗総合研究所

〒602-0802 京都市上京区寺町通今出川上ル二丁目
鶴山町8 Tel. 075-212-5500 Fax. 075-212-5501
http://www.otani.ac.jp/crj/SBCRI_index.html